



令和7年 12月21日(日)

13:00 開演 (12:00 開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂 (喜多能楽堂)

前売券：販売中

料金：全席指定(税込)

S席	10,000円	C席(1階)	7,500円
A席	9,000円	D席(2階)	7,500円
B席	8,000円	学生席(2階)	2,500円

※25歳以下、要学生証提示

- ・12時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は11時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団

協力：一般社団法人喜多流職分會

助成：  文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

喜多流自主公演

令和七年十二月

黒誓願寺 中村邦生
白塚 粟谷浩之

令和7年度 喜多流自主公演について

- ◆ 令和7年度(令和7年4月～令和8年3月)は全10回公演です。
 - ◆ 指定席券 全10回公演分 販売中
 - ◆ 全席指定(税込) S席 10,000円 C席(1階) 7,500円
A席 9,000円 D席(2階) 7,500円
B席 8,000円 学生席(2階) 2,500円
※25歳以下、要学生証提示
 - ◆ 令和7年度 喜多流自主公演年間優待券
5枚綴 40,000円(税込)
- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な優待券です。
・別途座席指定券をご予約ください。(追加料金なし)
・令和7年度自主公演のみ有効、喜多流青年能ではご利用いただけません。
・喜多能楽堂事務局、喜多流各職分にてお取り扱いしております。

チケット予約購入のご案内

インターネット予約

喜多能楽堂ホームページ <https://kita-noh.com/ticket/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示される番号をレジにご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカード・キャッシュレス決済をご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際に画面に表示される番号を窓口にご提示の上、チケットをお受け取りください。事前に予約画面にてクレジットカードによるオンライン決済をお済ませください。当日のお支払いはお受けいたしかねます。

電話予約

喜多能楽堂事務局(喜多能楽堂内) TEL. 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカード・キャッシュレス決済をご利用いただけます。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際にお伝えする番号を窓口にご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口予約

喜多能楽堂事務局(喜多能楽堂内) TEL. 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみ、チケットは窓口でお受け取りください。

- ※ お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。
- ※ ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

自主公演観客席ご案内



S席	10,000円	C席(1階)	7,500円
A席	9,000円	D席(2階)	7,500円
B席	8,000円	学生席(2階)	2,500円

※25歳以下、要学生証提示

会場ご案内

十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

お問い合わせ(喜多能楽堂事務局) TEL. 03-3491-8813

喜多能楽堂ホームページ <https://kita-noh.com/>

ご注意

- ・ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせたご来場をお願いいたします。
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・喜多能楽堂内に食堂や軽食の売店はございません。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。
- ・盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

事前解説 谷 友矩

能

後シテ・和泉式部の霊
前シテ・女
中村邦生

誓願寺

ワキ・遍上人 大日方 寛
ワキ連・從僧 梅村昌功
ワキ連・從僧 渡部 葵

アイ・小川表の者 野村裕基

大鼓 佃 良勝 太鼓 桜井 均
小鼓 鶴澤洋太郎 笛 槻宅 聡

後見 友枝雄人
金子敬一郎

地謡 狩野祐一 佐々木多門
佐藤 陽 内田成信
塩津圭介 長島 茂
谷 友矩 大島輝久

狂言

雁大名

シテ大名 野村萬齋

アド・太郎冠者 飯田 豪
小アド・雁屋 高野和憲

休憩(二十分)

仕舞

巻 絹 粟谷明生
車 僧 友枝真也

地謡 高林昌司
佐藤寛泰
内田成信
佐藤 陽

能

後シテ・鬼女
前シテ・里女
粟谷浩之

黒塚

ワキ・祐慶 村瀬 提
ワキ連・從者 村瀬 慧
白頭
アイ・東光坊の能力 内藤 連

大鼓 柿原孝則 太鼓 大川典良
小鼓 田邊恭資 笛 成田寛人

後見 友枝昭世
塩津哲生

地謡 金子龍晟 高林呻二
佐藤寛泰 金子敬一郎
友枝真也 大村 定
高林昌司 友枝雄人

附祝言

誓願寺(せいがんじ)

一遍上人が三熊野に参籠していると、「六十万人決定往生」と書かれた御札を全国に広めよとの霊夢を見たので、それを受け都へ旅をし誓願寺にやって来た。お告げの通り御札を広めていると、それを受け取った女が、「六十万人」とは往生の人数に限りがあるということか、と尋ねる。一遍上人は三熊野證誠殿より四句の文を賜ったことを告げ、「六字名号一遍法 十界 依正一遍体 万行離念一遍証 人中上々妙香華」の頭文字を取ったものであるから、六十万人と限りがあるわけではないと伝える。女は自分も往生出来ることを喜び夜念仏して阿弥陀仏を賛美すると、「誓願寺」と書かれた扁額を除けて「南無阿弥陀仏」の六字の名号に書き換えて欲しいと頼む。訝しむ一遍上人に、これはこの寺の御本尊のお告げであること、そして自分はこの寺に縁ある和泉式部の霊であることを伝えると、女は姿を消した。

〔中人〕
一遍上人は和泉式部の言葉の通り、「誓願寺」と書かれた扁額を除き、自ら六字の名号に書き改めた扁額を仏前に遷し奉ると、歌舞の菩薩となった和泉式部の霊が現れて舞を舞い、みな六字の名号の額を礼拝するのだった。
(約二二五分)

雁大名(がんだいみょう)

都での訴訟事が終わりに帰ることとなった大名。世話になった人々に馳走することを思い付き、太郎冠者に肴を買いに行かせる。太郎冠者は雁屋にて初雁を見つけるも、持ち合わせが足りず買うことができない。そのことを聞いた大名だったが、長い都暮らしのため自分も金が無い。太郎冠者は一計を案じ…。
(約二二五分)

黒塚 白頭(くろづかはくとう)

那智の東光坊の阿闍梨・祐慶の一行は回国行脚の途中に安達原に着き、一軒家を見つけ宿を請う。初めは断るも招き入れた家主の女は、旅の慰みにと請われるまま梓柳輪(糸車)を使って見せながら、人間の儚さを嘆く。そうするうちに夜が更け寒さが増したので、女は山に入り薪を採って焚いてやろうと出ていこうとする。遠慮する祐慶に、決して自分の闇(寢室)を見ないようにと言いつつ女は山へ出掛けていく。〔中人〕
見るなどいわれ余計に見たくなってしまう能力だが、祐慶はそれを許さない。しかし一行が寝入った隙に、能力はついに闇を覗いてしまう。闇の内には人の死骸が散乱する恐ろしい有様で、慌てて祐慶にそれを伝える。一行はさして音に聞く安達ヶ原の黒塚の鬼の棲家であろうと逃げ出すが、先程の女が鬼の本性を現し追い付き、激しく争う。やがて鬼女は折り伏せられて消え去るのであった。

白頭：後シテの扮装や演出が通常と異なる。
(約七十五分)

令和八年 一月 自主公演番組予告

令和八年 一月四日(日) 十三時始

●会場 十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)

●前売開始 前売券販売中

嵐山 佐々木多門
鉢木 塩津哲生